

沖縄県立北部農林高等学校

北農さくらプロジェクト

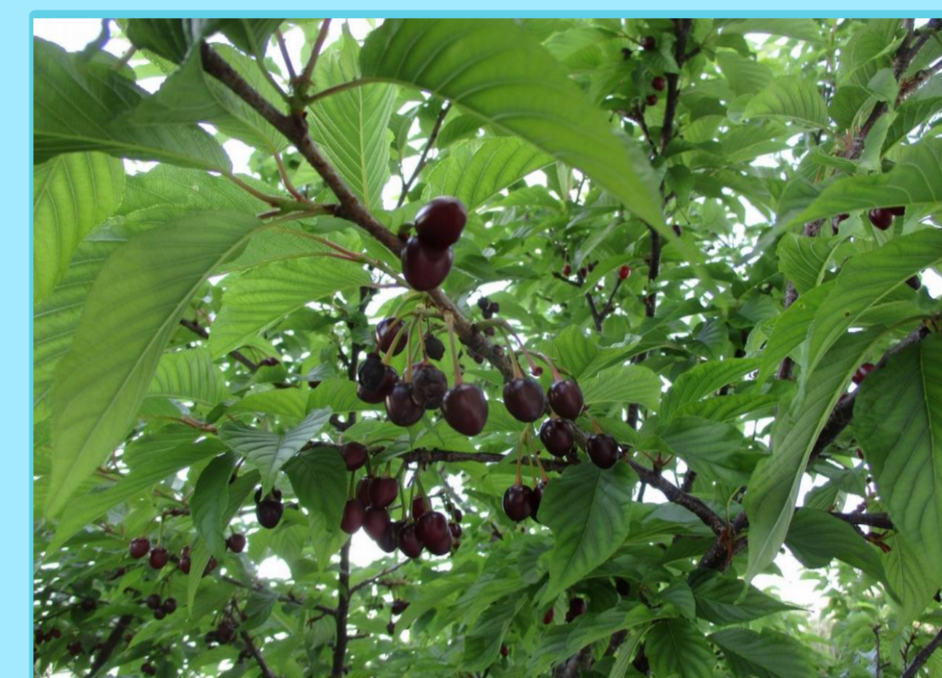
高校生ボランティア・アワード2021

「北農さくらプロジェクト」

活動概要

沖縄本島北部地域は、自然豊かな地域で、亜熱帯の森が作り出す「ヤンバルの森」が存在しています。この森には、多くの固有動植物、希少種が生息しており、世界自然遺産登録を目指しています。緑豊かな森を、濃いピンク色に染め、新春を知らせる花が寒緋桜です。沖縄の桜は、琉球寒緋桜と呼ばれ毎年1月頃から咲き始めます。沖縄の桜前線は、本島北部から南部へと南下するのが特長です。桜まつりも各地で開催されますが、その中でも有名な3大桜まつりとして、第60回を数える名護桜まつり、第43回本部八重岳桜まつり、第14回今帰仁グスク桜まつりがあり、琉球寒緋桜の名所として知られています。

日本で一番早く開花し、新春を知らせる沖縄の桜ですが、近年立ち枯れや老木が目立ちます。産学官一体となり、沖縄の桜を守るさくらプロジェクトを立ち上げ、生徒、市民、同窓を巻き込んで、取り組んでいます。



「未来へ残せ、ヤンバルの豊かな自然」

活動の目的

私たちに愛され続けている桜ですが、近年、立ち枯れや老木がめだつようになりました。そこで、「未来へ残せ、ヤンバルの豊かな自然」をテーマに、北農さくらプロジェクトを立ち上げ、林業緑地科の全生徒、エコ部をはじめ、環境問題に関心の高い生徒を中心に、研究活動、植栽活動を地域と連携し行い、環境問題への啓発へとつなげてます。



「活動目標」

実施内容及び今後の予定

- (1) 名護桜の会、名護市観光協会、名護花の里づくり会、北部農林高校同窓会、大東区、城区、東江区との連携
- (2) 名護市さくら祭り、本部町八重岳桜まつり、今帰仁グスク桜まつり等への協力
- (3) 第60回全日本花いっぱい名護大会への協力
- (4) 調査研究及び指導活動
- (5) さくらの普及及び育樹作業
- (6) 接ぎ木講習会の実施
- (7) 商品開発（北農さくらジャムの開発）
- (8) 立ち枯れ調査（土壌の分析、生育調査）
- (9) 生徒一人一桜運動の実施
- (10) 中学生桜植樹ボランティアの募集



豊かな自然環境を次世代へ
育てようプロジェクト！

桜ボランティア募集

日本全国で一番早く開花する沖縄の桜。本島北部ヤンバル地域に新春を知らせる濃いピンク色が特長です。毎年桜まつりも開催されており、第60回を数える名護桜まつりや第43回本部八重岳桜まつり、第14回今帰仁グスク桜まつり等、琉球寒緋桜（カンヒザクラ）の名所として知られています。

私たちに愛され続けている桜ですが、近年、立ち枯れや老木がめだつようになり、補植が必要となっています。

そこで、北部農林高等学校林業緑地科では、「未来へ残せ、ヤンバルの豊かな自然」をテーマに、桜プロジェクトを立ち上げました。沖縄に新春を届け、私たちの生活に癒しを与えてくれる桜を守るため、一緒に桜を育ててみませんか？

沖縄県立北部農林高等学校
緑地科の桜ボランティア
〒905-0006
沖縄県名護市宇良比13番地
連絡先 0980-52-2634
担当 大城、石川
oohara@oan.ed.jp

豊かな自然環境を守る
植樹活動に参加しませんか？



「未来へ残せ、ヤンバルの豊かな自然」

今後の展望・夢

沖縄には、琉球寒緋桜の3大スポットがあります。本部八重岳桜まつり会場である本部町八重岳には、標高450mの三町まで続く道沿いに7000本の桜が植えられています。今帰仁グスク桜まつり会場は、世界遺産である今帰仁城跡にはあります。琉球王国建国以前に造られ、流線型の石垣に囲まれており、ライトアップされる夜桜も魅力です。第60回を数え伝統ある名護桜まつりは、名護市の名護中央公園の山岳を一带とし、名護市街地を一望することができます。さくら祭りは、沖縄に新春到来をつげる一大イベントで、県内外から多くの観光客が訪れ、桜祭りの時期になると地元ビール会社のビールパッケージが桜模様になります。

あたりまえのように毎年咲き、安らぎを与えてくれますが、近年、老木化、立ち枯れ等により、数が減少しています。樹木は、生長するのに何十年も時間がかかるため、今のうちから手を打たないと、減少の一途をたどってしまいます。そこで私たちは、豊かな自然環境を残すため、さくらプロジェクト立ち上げ、地域、同窓会を通して、地域交流を行い、意識の高揚や連携、地域の活性化に取り組んでいます。



北部農林高等学校 林業緑地科&エコ部

北部農林高校林業緑地科、エコ部、北部農林高等学校後援会、北部農林高等学校同窓会、名護桜の会、名護市観光協会、名護花の里づくり会、大東区、城区、東江区と連携しさくらプロジェクトを行っています。